

2024年度 活動報告

2024年度会員数 140名 (2024年4月1日時点)

1 支部研修会の開催 3ポイント分実施した。

○5月11日(土) 14:00～17:15 (1ポイント)

テーマ：新版K式発達検査 2020 の理解と活用 (検査者向け)

講師：清水 里美先生 (平安女学院大学 こども教育学部・教授)

会場：ちえりあ大研修室

参加者：24名

○5月12日(日) 9:20～12:30 (1ポイント)

テーマ：新版K式発達検査 2020 の理解と活用 (臨床向け)

講師：清水 里美先生 (平安女学院大学 こども教育学部・教授)

会場：ちえりあ大研修室

参加者：19名

○11月10日(日) 12:30～15:45 (1ポイント)

テーマ：子どもの司法面接

講師：佐々木 真吾先生 (北海道教育大学 教育学部 札幌校・准教授)

会場：かでる2・7 1030 会議室

参加者：18名

2 広報

- ・支部会員向けの連絡は、必要に応じてメールで行った。
- ・全国各地域の発達支援にかかわる情報について、全国で共有できるように、士会ホームページに掲載されることになった。北海道支部でも、支部会員に情報提供を呼びかけた。

3 役員会

- ・2024年5月11日に対面、11月10日と2025年3月2日にリモートで、計3回実施した。
- ・役員会以外に、役員内メールリングリストを活用して、意見交換や支部運営を行った。

4 関係諸団体との連携

- ・北海道心理職能団体連絡協議会には、戸田まり支部長が対応した。

5 『一般社団法人日本臨床発達心理士会』との連絡や調整

(1) 士会事務局との連絡調整

研修会企画書と報告書の提出、次年度の事業計画と予算要求の提出、研修会講師への謝礼や交通費の確認、研修会のホームページ掲載など、士会事務局との綿密な連絡と調整を行った。

(2) 代議員

滝澤真毅氏、奥村香澄氏が社員総会に出席。任期は2年間、2024年度末まで。

6 会計

- ・支部会計は士会会計に統合されており、支部としての単独会計ではない。
- ・帳簿等の管理は支部会計で行った。年度末に士会会計に提出し、確認を受けた。領収書については、支部会計で会計処理を行ったうえで、士会に提出した。

- ・講師謝礼等の計算を行った。
- ・2025 年度支部活動計画をもとにした支部活動費の要求を、2025 年 1 月に士会事務局に提出した。
- ・決算は支部総会において「案」として紹介し、正式決定は社員総会での承認後となっている。

北海道支部

2024年度収支計算書（2024年4月～2025年3月）

↓ 2024年度予算に更新をお願いいたします。

科目番号	科目		予算額	執行額	差額
301	士会からの送金	基本準備金	560,000	785,000	0
		活動企画費	225,000		
		小計	785,000	785,000	0
302	支部主催資格更新研修会参加費	支部研修会参加費(会員)	60,000	33,000	27,000
		公開研修会参加費(非会員)	0		
		小計	60,000	33,000	27,000
303	災害活動助成金	助成金(機構基金運用委員会から)	0		
		助成金(外部団体から)	0	0	0
		その他	0		
		小計	0	0	0
304	預貯金利息		0	5	-5
305	雑収入	事務処理手数料	0	0	0
		その他	0		
		小計	0	0	0
当期収入合計(A)			845,000	818,005	27,000
支出					
科目番号	科目		予算額	執行額	差額
401	支部総会運営費	会場費	0		
		会議費	0	0	0
		印刷費	0		
		通信費	0		
		その他	0		
		小計	0	0	0
402	支部研修会運営費	会場費	80,000		
		会議費	0		
		講師謝金	152,000		
		講師旅費	180,000		
		印刷費	5,000		
		通信費	25,000		
		会場担当者費	20,000		
		役員謝金	0		
		役員旅費	0		
		その他	7,000		
		小計	469,000	327,673	141,327
403	役員会運営費	会場費	0		
		会議費	0		
		旅費	140,000	13,340	126,660
		印刷費	0		
		通信費	0		
		その他	0		
小計	140,000	13,340	126,660		
404	NL関係費	印刷費	0		
		通信費	0	0	0
		その他	0		
		小計	0	0	0
405	ホームページ関係費	ホームページ費	0		
		ホームページ担当者費	0		
		小計	0	0	0
406	印刷費		0	0	0
407	通信費		3,000	0	3,000
408	消耗品費		0	0	0
409	人件費	アルバイト給与(発送、研修会、その他)	0	0	0
		アルバイト旅費(発送、研修会、その他)	0		
		小計	0	0	0
410	備品費		200,000	40,115	159,885
411	災害活動費	旅費	0		
		通信費			
		会議費	0	0	0
		印刷費	0		
		消耗品費	0		
		保険加入費	0		
		その他	0		
		小計	0	0	0
412	他団体関係費	JDDネット(年会費)	0		
		JDDネット(旅費)	0	0	0
		心理研修センター関係費(旅費)	0		
		その他	0		
		小計	0	0	0
413	渉外関係費	出張旅費	0	0	0
		その他	0		
		小計	0	0	0
414	支部分割関係費	会場費	0		
		会議費	0		
		旅費	0	0	0
		印刷費	0		
		通信費	0		
		その他	0		
		小計	0	0	0
415	手数料	振込手数料	3,000	0	3,000
		その他	0		
		小計	3,000	0	3,000
416	雑費		0	0	0
499	予備費		30,000	0	30,000
当期支出合計(B)			845,000	381,128	463,872
当期収支差額(A) - (B) = (C)			0	436,877	-436,877

2025年度 活動計画（紹介）

2025年度会員数 151名（4月1日現在）

1 支部研修会

- ・2ポイント分を開催する。
- ・研修内容などを考慮し、リモートまたは会場開催とする。併用開催は行わない。
- ・事前の参加申し込みを必須とする。また、参加費は申し込みの段階で徴収する。（士会事務局で事前に受付と参加費の取り扱いをするため、当日の参加希望や、参加費納入は受け付けられない。）
- ・開催予定日の4ヶ月前までに士会事務局に研修会企画書を提出。
- ・企画書の承認を受けた後（開催の約3ヶ月前）に、ホームページ上で案内を掲載。
- ・北海道支部で実施する研修会は、『臨床発達心理士のための資格更新研修会 必須 B』という扱いになっている。
- ・リモートで参加可能な全国研修会や他支部の研修会が増え、参加しやすく、選択の幅も広がってきたため、2025年度は2ポイント分を開催する。

○7月27日(日) 13:45～17:00（1ポイント）

テーマ：神経発達症周辺の子どもへの薬物療法

講師：柳生一自先生（北海道医療大学 心理科学部臨床心理学科 教授）

会場：かでる2・7 1030 会議室

※詳細は、ホームページに掲載される情報をご確認ください。

○2回目は11月の開催予定

2 広報

- ・支部会員への情報提供や連絡は、送信システムを用いて、登録されたアドレス宛に一斉送信する。（支部では会員のアドレスの管理はしていません）
- ・支部事務局に届いた求人依頼等は、支部会員にメール連絡で提供する。
- ・北海道内の発達支援にかかわる情報や、北海道支部研修会の当日の様子について、全国で共有できるように、士会ホームページへの掲載依頼を行う。（情報をお持ちの方は、北海道支部事務局にお寄せください）

3 役員会

- ・必要に応じて、役員会を開催する。
- ・役員会では、日本臨床発達心理士会からの連絡事項への対応、支部研修会の計画などを行う。

4 関係諸団体との連携

（1）北海道心理職能団体連絡協議会

- ・情報交換や連携、協力を行う。

（2）後援

- ・名義後援などの依頼があった場合は、役員会で協議して対応する。

5 『一般社団法人日本臨床発達心理士会』との連絡や調整

（1）士会事務局との連絡調整

- ・綿密に連絡を取り、円滑に支部を運営する。

（2）全国大会における支部活動報告

- ・職能委員会からの要請があった場合、支部の活動内容をまとめ、発表を行う。

(3) 代議員の選出

- ・代議員は、社員総会に出席し、士会の運営に関わる。
- ・支部では2年に1度、選挙管理委員会を組織し、代議員選挙を行う。(奇数年度)
- ・今年度は任期中なので、代議員選挙は行わない。ただし、欠員で代議員選出が必要となる場合は、代議員選挙を行う。

6 会計

- ・支部会計は士会会計に統合されており、支部としての単独会計は無い。
- ・支部研修会の講師に対しては、士会から直接謝金が支払われる。
- ・支部会計は、交通費や会場費等の支払いを行う。帳簿等の管理も行い、年度末に士会会計に提出し確認を受ける。領収書については、支部会計で会計処理を行い、士会会計に提出する。
- ・2026年度支部活動計画を2025年12月に作成し、その活動計画に基づいた2026年度支部活動費(予算)の要求を2026年1月に士会本部に行う。
- ・予算は支部総会において「案」として紹介したのち、正式決定は社員総会における承認後になる。

北海道支部

2025年度予算額請求書（2025年4月～2026年3月）

		送金請求額(AとBの多い方)	570,000 円
11月30日現在 正会員数	145	最低補償額(A)	290,000 円
活動に必要な金額の総額(B)			570,000 円

収入

科目番号	科目	2024年度予算	2025年度予算	差額	
301	士会からの送金	基本運営費	560,000	530,000	-30,000
		活動企画費	225,000	0	-225,000
		小計	785,000	530,000	-255,000
302	支部主催資格更新研修会参加費	支部研修会参加費(非会員の有資格者含む)	60,000	40,000	-20,000
		公開研修会参加費(有資格者以外も参加する研修会)			0
		小計	60,000	40,000	-20,000
303	災害活動助成金等、他団体からの助成金等	助成金(外部団体から)			0
		その他			0
		小計	0	0	0
304	預貯金利息		0		0
305	雑収入	事務処理手数料			0
		その他			0
		小計	0	0	0
当期収入合計(A)		845,000	570,000	-275,000	

支出

科目番号	科目		2024年度予算	2025年度予算	差額
401	支部総会運営費	会場費	0	0	0
		会議費	0	0	0
		印刷費	0	0	0
		通信費	0	0	0
		その他	0	0	0
		小計	0	0	0
402	支部研修会運営費	会場費	80,000	150,000	70,000
		会議費	0	0	0
		講師謝金	152,000	107,000	-45,000
		講師旅費	180,000	150,000	-30,000
		印刷費	5,000	5,000	0
		通信費	25,000	25,000	0
		会場担当者費	20,000	20,000	0
		役員謝金	0		0
		役員旅費		70,000	70,000
		その他	7,000	8,000	1,000
		小計	469,000	535,000	66,000
403	役員会運営費	会場費	0	0	0
		会議費	0	0	0
		旅費	0	0	0
		印刷費	0	0	0
		通信費	0	0	0
		その他	0	0	0
		小計	0	0	0
404	NL関係費	印刷費	0	0	0
		通信費	0	0	0
		その他	0	0	0
		小計	0	0	0
405	ホームページ関係費	ホームページ費	0	0	0
		ホームページ担当者費	0	0	0
		小計	0	0	0
406	印刷費		0	0	0
407	通信費		0	0	0
408	消耗品費		0	0	0
409	人件費	アルバイト給与(発送、研修会、その他)	0	0	0
		アルバイト旅費(発送、研修会、その他)	0	0	0
		小計	0	0	0
410	備品費		200,000	0	-200,000
411	災害活動費	旅費	0	0	0
		通信費	0	0	0
		会議費	0	0	0
		印刷費	0	0	0
		消耗品費	0	0	0
		保険加入費	0	0	0
		その他	0	0	0
		小計	0	0	0
412	他団体関係費	JDDネット(年会費)	0		0
		JDDネット(旅費)	0		0
		心理研修センター関係費(旅費)	0		0
		その他	0		0
		小計	0	0	0
413	渉外関係費	出張旅費	0		0
		その他	0		0
		小計	0	0	0
414	支部分割関係費	会場費	0	0	0
		会議費	0	0	0
		旅費	0	0	0
		印刷費	0	0	0
		通信費	0	0	0
		その他	0	0	0
		小計	0	0	0
415	手数料	振込手数料	3,000	5,000	2,000
		その他	0	0	0
		小計	3,000	5,000	2,000
416	雑費		0		0
499	予備費		30,000	30,000	0
当期支出合計(B)			702,000	570,000	-132,000
当期収支差額(A)-(B)=(C)			143,000	0	-143,000

【事務局からのお願い】

- 北海道支部で主催する研修会のご案内は、開催日のおよそ3ヶ月前に、士会ホームページ上に掲載されます。メールによる支部研修会のご案内はしておりません。定期的にホームページをご確認ください。
- 連絡はメールのみで行っています。アドレスの確認や変更は、必ずご自身で行なってください。
- 以下の3箇所からのメールを必ず受け取れるように設定してください。臨床発達心理士会に登録されているご自身のアドレスの確認や変更は、必ずご自身で行なってください。
jacdpost@as.bunken.co.jp （臨床発達心理士会事務局）
cdp.hokkaido@gmail.com （北海道支部事務局）
hokkaido.cdpsensyu@gmail.com （北海道支部研修担当）
- 研修会や職員募集など、北海道支部会員に周知したい情報がある場合は、北海道支部事務局 cdp.hokkaido@gmail.com にお問い合わせください。1週間以上の余裕を与えてくださるよう、お願いいたします。

資格更新研修会に関して ～2023 年 4 月までに資格を取られた皆様へ

○2023 年に認定運営機構と臨床発達心理士会が別組織になってから、資格更新方法に変更があります。認定運営機構のホームページ等で必ず確認してください。

○北海道支部事務局では、個人の資格更新や研修会ポイントに関しては、一切お答えできません。本部の臨床発達心理士会事務局も同じです。更新やポイントを管理している認定運営機構では、個人で調べれば分かる範囲の問い合わせには一切応じていないそうです。

※以下、ご自身が資格更新方法を確認済みであることを前提に、参考として掲載します。

○2027 年度の資格更新までは移行措置期間のため、例えば、臨床発達心理士会主催の全国研修会や支部研修会(必須 B)への 1 2 ポイント分の受講による更新は可能です。

○2028 年度以降の更新の際は、『臨床発達心理士会及び支部主催の研修会＝必須 B』の受講だけでは資格更新できなくなります。認定運営機構主催の『必修研修会 必須 A』の 2 ポイント(6 時間)以上の受講も必要となります。

○認定運営機構主催の研修会にも『必須 B』があるそうです。

○2028 年度以降も『必須 B』の 2 ポイント以上の受講は必要です。

(資料)

「移行措置期間における更新ポイントの取り扱い」、「移行措置と必須ポイントの確認について」「更新のためのポイント表改定第 8 版」は認定運営機構のホームページ内にあります。

移行措置期間における更新ポイントの取り扱い（一部）

(2023 年度更新～2027 年度更新)

更新にあたっては新たに一般社団法人 臨床発達心理士認定運営機構が開催する必修研修において 5 年間で 2 ポイントの取得が必要となりました。ただし、2023 年度から(2027 年度までの) 5 年間は移行措置で更新することが可能です。詳しくは「移行措置期間における更新ポイントの取り扱い」および「移行措置と必須ポイントの確認について」をご確認ください。

「更新のためのポイント表」改定第 8 版（一部）

資格更新には、5 年間に、1 2 ポイント以上を取得する必要があります(臨床発達心理士更新手続き細則 第 2 条)。また、1 2 ポイントの中には下記の 4 ポイント以上を含まなければなりません。

研修会種別	ポイント数		主催
必修研修会	必須 A	2 ポイント以上	機構研修委員会 機構の各委員会等
臨床発達心理士のための 資格更新研修会	必須 B	2 ポイント以上	機構研修委員会 機構の各委員会等 および承認団体

必須 A
2028 年度更新
から必須

*初回の資格更新では
「必須 A の倫理研修会:1
ポイント」を必ず含める
こと

承認団体＝臨床発達心理士会・支部

臨床発達心理士会全国大会、全国研修会、各支部の研修会は必須 B に入ります。



一般社団法人
日本臨床発達心理士会
Japanese Association of Clinical Developmental Psychologists

サイト内検索 検索 マイページ お問い合わせ

ホーム 日本臨床発達心理士会について **士会の活動** 臨床発達心理士とは 出版物 お知らせ 研修について 全国大会 賛助会員

臨床発達心理士が活動しているところ

HOME / 士会の活動 / 臨床発達心理士が活動しているところ

どんなところで活動しているのか

臨床発達心理士は、以下のような分野で働いています。「その他」には、以下のような回答がありました。宗教教育・宗教施設 障害者支援施設 行政

起業等をしている会員

臨床発達心理士の中で起業するなど、自ら心理支援の事業を展開している会員も多くおります。その紹介をします。※ 臨床発達心理士が中心となつ

士会の活動

支部について
北海道支部
東北支部

今後、支部研修会の様子や取組なども、掲載することがあります。
ご承知おきく

士会ホームページの活用について

北海道支部会員の皆さんの活動や取り組み、発信したいことなど、士会 HP に掲載していただくことが